

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	安心安全支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課			
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	樋口 洋徳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	地域における自主防犯意識を醸成し、自主防犯活動を活性化することにより安心・安全に暮らせるまちづくりをする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯パトロール隊への支援 ・市民安全パトロール隊への支援 ・安心メールの配信 ・防犯カメラの設置及び維持管理 			
事業開始から現在までの状況変化	自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊の活動を支援し、防犯意識の普及を図り、また、安心メール配信、防犯カメラの設置を行い、相乗効果により地域防犯力が向上し、毎年、犯罪発生件数は減少している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	刑法犯認知件数	1,334	1,192	1,164	件	↓↓↓
②	市民安全パトロール隊員数	50	47	44	人	↓↓↓	
③	自主防犯パトロール隊組織数	68	68	71	団体	↑↑↑	
④	安心メール登録件数	71,107	76,128	89,575	件	↑↑↑	
⑤	防犯カメラ設置台数（累計）	65	70	80	台	↑↑↑	
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	自主防犯パトロール活動は、地域防犯力を推進するだけでなく、地域コミュニティへの参加の機会にもなっている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	自治会等で組織された自主防犯パトロール隊へ防犯ベスト等の活動用品の貸与を行い、また、防犯・交通講話及び年末年始特別警戒取締り出動式を開催し、防犯・交通情報を共有するとともに年末年始に向けての警戒意識の高揚、活動の活性化を図った。市民安全パトロール隊に対し、青パト及び安全運転講習会を開催し、青パト車の適正な運転、安全運転励行を図った。安心メールの登録を推進し、登録件数を増やすことができた。新たに10台の防犯カメラを設置し、地域の防犯力向上を図った。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	12,720,369	14,196,742	22,873,923				
事業費(b)(円)	6,885,119	7,484,742	16,281,923				
うち一般財源	5,678,704	6,377,822	12,031,923				
職員給与費(c)(円)	5,835,250	6,712,000	6,592,000				
人役・職員(人)	0.85	1.00	1.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	各防犯団体と連携し電話de詐欺等被害を減少させるための街頭防犯啓発活動を実施する。	③取組における課題(Check)	防犯街頭啓発活動の参加人数を増やし、活発化する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	流山警察署を中心に市民安全パトロール隊と連携し、駅前やショッピングセンター辺で、電話de詐欺等被害防止のための街頭啓発活動を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	警察や各防犯団体と連携し、防犯活動を推進していく。